



発行責任者 大倉光男 (18期生)
題字 駒井妍和(聰) (25期生)

頑張る同窓生

五十嵐幸子さん (28期 昭和54年卒業)

今回の【頑張る同窓生】は地元阿佐谷でパウンドケーキ店を営む五十嵐幸子さん。3月はじめに春めいた中杉通りの甘い香り漂うお店を訪ねました。

五十嵐さん（愛称：いがちゃん）は、昭和38年に阿佐谷に生まれ阿佐谷に育った正に阿佐谷っ子です。東京文化短大を卒業後、栄養士の資格を取得し、雪印乳業に入社。冷凍食品や外食事業の開発など、栄養士の資格を生かしつつ約10年間経験を積み、その後、パウンドケーキのお店を開くに至ったそうです。

*いがちゃんの東原中時代の思い出は？

一番の思い出は剣道部の部活動のこと。卒業後高校でも剣道部に所属し6年間、辛い寒稽古にも励んだことです。

入部の動機は三歳違いの兄が入部し着ていた胴着の名前がかっこいいと思ったことです。部員は30数名と多く、顧問だった長内先生はじめ、先輩や後輩とは今でも付き合いが続いている。剣道の稽古でつけた体力、人との距離や関係、集中力、先を読む力などが今も生かされていると思います。



*なぜパウンドケーキ店を開いたの？

祖母が米屋を営んでいたので、幼いころから餅つきの手伝いで働くことが生活の一部でした。食品に関する仕事を続けていく中で、定食の店を持ちたいと考えましたが、アルバイト時代に培ったお菓子作りを生かし、パウンドケーキにたどり着きました。

*屋号《はちどり菓蔵》の由来は？

はちどり（英名ハミングバード）「森が燃えたときに鳥の仲間の中で一番小さいはちどりがくちばしに水を貯めて火を消そうとしたが、他の動物たちはそんなことをしても無駄だと言った」という民話があります。「自分ができることはやりたい」というコンセプトと合っていると思い「はちどり」を。菓子の「菓」豊かさと落ち着きを表す「蔵」を合わせました。



*こだわり

5種類のオーガニックのパウンドケーキをベースに季節ごとに種類を増やしています。酒蔵にこだわった酒粕ケーキや体に良いカボチャや文旦のケーキ、クリスマスやバレンタイン用のお菓子、猫好きなので猫のクッキーもあります。まだまだ試行錯誤は続きます。

食べ物の循環を食育に取り入れてほしいし、食料自給率、フードロスについても伝えたいです。

何より接客に大事な笑顔と気配りに、いがちゃんの優しい人柄を感じたインタビューでした。

最後に『東原中で良かった。東原のご縁を大切にしたい』と語ってくださいました。ぜひ、素敵な笑顔に会いに。優しい味のパウンドケーキを堪能してみてください。

(インタビュー：大倉光男 文：駒井聰)



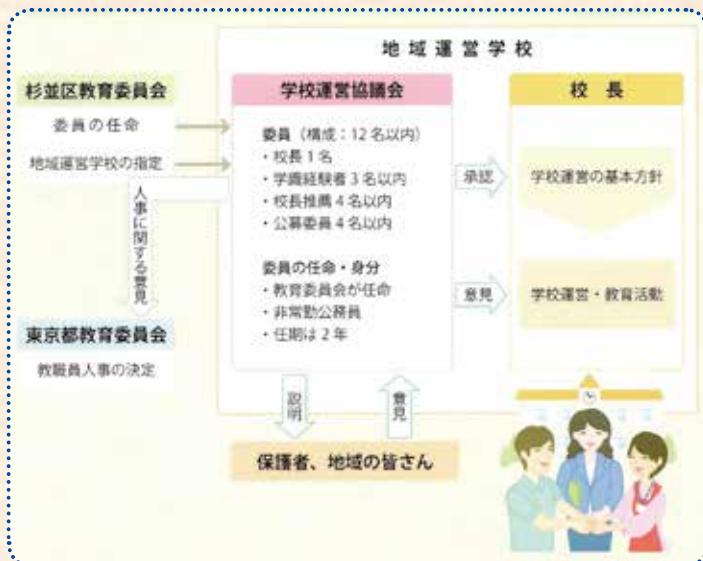


【東原中学校には 2016 年に『学校運営協議会』、2008 年に『学校支援本部』が設置されました。それぞれの組織で東原中学校の同窓生が活躍しています。組織の役割りや活動・メンバーの紹介をします。】

学校運営協議会とは

★公立学校には保護者や地域の様々な生き円を的確に反映させ、地域に開かれた信頼される学校づくりが求められています。2004 年 6 月より『地域運営学校（コミュニティ・スクール：略して CS）』制度が導入され、東原中学校には 2016 年に設置されました。

【コミュニティースクールのイメージ】



【学校運営協議会の役割】

◎校長が作成する学校運営に関する基本的な方針の承認を行う。

→ 校長の学校経営ビジョンづくりに向けて、教育課程の編成、予算執行、組織編成、施設・設備等の整備及び管理に関する事項について協議します。

◎学校運営に関し教育委員会または校長に意見を述べる。

→ 基本的な方針に関する協議にとどまらず、学校運営全体にわたり意見を述べることができます。

◎学校の教職員の任用に関し、任命権者に意見を述べることができる。

→ めざす教育方針を実現させるために「こんな先生に来てほしい」と、教育委員会に意見を述べることができます。

この3つの役割を果たすために教職員、生徒や保護者の方々の意見や要望を把握し、学校運営状況の評価などを行います。

【東原中 CS 運営ビジョン】

創造

～自ら考える～

礼節

～豊かな心を持つ～

健全

～たくましく生きる～

令和3年度のメンバー

会長をはじめ、東原中同窓生が5名就任しています。

会長	眞下 進	(6期)
小松	進一	(学校長) 以下 50 音順
青木	紀男	
石原	力	(21期)
大倉	光男	(18期)
岡村	猛	
田邊	直子	(28期)
辻村	清美	
富田(駒井)	聰	(25期)
東島	信明	
前田	小百合	(PTA会長)

主な活動

- * 定例会
- * 学校行事・授業公開参観
- * 給食試食会
- * 勉強会・研修会参加
- * 懇親会(教員・生徒・保護者)
- * 広報誌発行

『学校運営協議会』『学校支援本部』の活動等については東原中学校のホームページよりご確認ください。

<https://www.suginami-school.ed.jp/higashiharachu/>



東原中学校

学校支援本部とは



学校支援本部は子どもたちの学びを支える「応援団」です。

- 学校支援本部は、学校・保護者・地域をつなぎ、
子どもたちの学びを支え、学校を核とした地域
コミュニティを育んでいきます

【東原中学校学校支援本部って何をしているの??】

定期検査1週間前に開催する放課後スタディの教室管理、花壇の修復・整備、プランター水やり、英検・漢検の実施を行っています。学校の要請に応じて学校行事支援も行っています。



令和3年度学校支援本部員の紹介

本部長：大杉 香代（24期）
庶務：板橋 将隆（8期）

副本部長：大倉 光男（18期）
庶務：石渡 智行（25期）

事務局長：富田（駒井）聰（25期）
会計：清水 智生（卒業生保護者）

●ボランティア募集●

東原中学校支援本部では、一緒に支援本部の活動を支えてくれるボランティアを随時募集しています。
下記アドレスまでお問合せください。

- ・学習ボランティア：定期検査1週間前に開催する放課後スタディの教室管理
- ・花ボランティア：花壇の修復・整備、プランター水やり
- ・学校行事支援：学習発表会支援など。

問い合わせ先：東原中学校学校支援本部メールアドレス
shienhhs@gmail.com





*同窓会便り 投稿歓迎(近況・思い出などなど)

400字程度の記事と写真、お待ちしています。

「楽歩会」

高橋 美智子（旧姓 浜崎 12期 昭和38年卒）

私の楽しみは、山の会に参加することです。坂を登る事すら苦手だった私ですが夫に誘われ、富士山、北岳、北八ヶ岳、白馬山と登りました。坂道とは違う気持良さを感じ、すっかり登山好きになりました。しかし、2人よりグループの方が楽しそうだと思い、主人の会社の山の会「楽歩会」に参加させて頂きました。参加してから23年間、毎月1回どこかに連れて行ってくれました。ざっと思い出して、行った所を書き出してみました。陣馬山、大菩薩嶺、西沢渓谷、岩殿山、三頭山、景信山、三つ峠、百蔵山、茶臼岳、石割山、扇山等々忘れてしまった所もたくさんあります。同じ所でも、季節によって違う美しさに感激した事を思い出します。写真を見ながら若かったなあと思いました。

やはり皆年を重ね、足腰が弱り、体力低下の為、山から丘、そして平地を(散歩会)になりました。

山の帰りには、必ず反省会として居酒屋に寄りました。反省はした事はなく、飲んで雑談するだけです。最近は散歩もなくなりました。



大菩薩峠にて 右端 本人

しかし、月1回の飲み会はずーっと続いています。話題が山の話ではなく、自分の体調の話、病気の話、薬の話など役に立つ話も多く、楽しい時間です。女性は4人しかいないし、私がいちばん年下なんです。可愛がってもらいたい、本当にいい仲間に誘われて良かったなあと思っています。オジイサン達との話もおもしろいものです。

新型コロナウイルスの為、3か月中止しています。1日も早く「楽歩会」の再開を待っています。

「近況報告を依頼されて」

小池 道子（19期 昭和45年卒）



「ごぶさたー」と言われても、そもそも私は転校生。中学1年生の2学期に福岡から杉並（本天沼）に転居となり、東原中に転入。高2の時に目黒に転居し、大学からは今の中野（野方）に戻りましたが、高校入学と同時に東原とは接点が無くなったり、同時期に在籍した方以外は、一人を除いて存じ上げないです。ただし、私の中学時代は本当に楽しいものでした。毎日の授業、クラブ活動、スキー教室、区のダンスコンクール・競技大会、どれをとってもユニークな教師と大勢の仲間に囲まれて、のびのびと充実して過ごしました。今さらながら心から御礼申し上げます。

さて、東原を卒業後、お茶の水大付属高校に進学し、東大医学部を卒業しました。外科に入局し乳癌を専攻。医局時代には都立府中病院、国立東京病院、癌研究会病院、横浜船員病院、国立国府台病院などに出向。

1998年に医局を辞し、銀座7丁目（G6の1軒置いて隣）で「銀座プリマ・クリニック」という乳腺専門クリニックを開業して今に至ります。この間、船員保険病院時代の私の上司が、ただ一人出会った東原出身の大先輩でした。上妻達也先生です。ご存じの同窓生も多いでしょう。弟さんは2学年上で、よく存じておりましたが、達也先生が同じ外科の医局で、出向先で大変お世話になりました。これにはお互いにびっくり。世の中狭いね、でした。

私のクリニックは全員予約制で、私一人で全症例を診察しています。予約枠はほぼ埋まっており、院長業の雑用もあり、ほぼフル回転で予定をこなさないと、業務が散積します。仕事第一ですが、そのためには健康で強靭な体力と心身のリラックスが必要で、それがバランス良く配分されることが肝要です。まず勤務先近くに寝泊まりする所を確保し猫3匹と同居しています。

日曜日は中学時代から原則阿佐ヶ谷教会に出席。銀座のカルチャースクールで週1回バレーをやり、年に1、2回登山を兼ねた温泉旅行を楽しんでいます。東原の同期の塚越洋子さんのジャズライブや同期会も楽しみの一つです。開業医ですので定年はありませんが、今後、どのようにして上手に仕事を縮小するかが課題です。

「能登便り」

大森 美樹（旧姓 永淵 25期 昭和51年卒）

父の転勤で各地を転々とし、佐賀、三鷹、徳島、船橋、亀有、そして中学入学と同時に阿佐谷にやってきました。引っ越し人生の中で入学から卒業までいられたこと、トータルで6年間の阿佐谷生活は忘れ難く、私の中ではどの地よりも『ふるさと』です。長年すっかりご無沙汰していたにもかかわらず、SNSのグループに仲間入りさせてくれている、東原同期の皆さんには感謝しています。

現在、私は石川県能登半島の七尾市というところの神社に嫁いで、すっかり能登人です。金沢はよく知られるようになりましたが、そのほかの石川県はあまり知られていません。ひどいときには『金沢県?』なんて言われるとも（笑い）。そこで今回は能登半島の七尾市を紹介させていただくことにしました。

本州の真ん中辺に日本海側に鍵のような形で出っ張った半島、それが能登半島です。その中ほどの東側に口を

開けたような場所が七尾市です。地形的には暖流と寒流がぶつかるところで、立山連峰からのミネラル豊富な地下水が流れ込むため、海の幸は豊富で特に冬場のぶり、タラ、カニ、牡蠣、そのお寿司は絶品です。

歴史は古く畠山氏が築城し、上杉謙信によって落城した七尾城址はお城好きにはたまらない名城跡といわれています。そのころから始まった5月の祭り、『青柏祭』では、高さ12メートル、日本一大きな山車が3台練り歩き、市内は祭り一色、熱気でにぎわいます。

車で15分ほど走ると、和倉温泉があり、ここは『海の温泉』として知られています。和倉温泉から海に伸びた橋を行くと能登島です。水族館でも楽しめますが、自然の海のイルカに会うことや一緒にダイビングもできますよ!北陸新幹線や飛行機を使って、東京からそう遠くないところで日常を離れたリゾート気分がきっと味わえます。

なにはともあれ一刻も早くコロナ禍が収束し、穏やかな日常で皆さんにお目にかかる日が来ることを願っています。



右から2番目 本人

吉野 友子（旧姓 小川 25期 昭和51年卒）



ごぶさたー！といつても初めての投稿です。私は昭和51年卒業、25期生の吉野友子（旧姓・小川）といいます。新型コロナウイルスが幅をきかせている昨今ですが、皆さんお元気ですか？私は結婚した後、杉並区の隣の三鷹市に住んでもう35年になります。周辺には「野川公園」「武蔵野公園」「深大寺」や「神代植物園」などがあり、縁も多く良い所ですよ。（でも今はほとんどが閉鎖中です。）

私は専門学校で学んだ裁縫技術を生かして、袋物作りや、簡単な服の直しなどをしています。

我が家には子供はいないのですが、ここ10年ほどは毎年2、3人の子の入園・入学グッズを作っています。大変なのは通うところによって、袋物の形や大きさが違うのでちょっとしたパニックになったりしますが、それが脳への刺激になっているかも!!今は袋物作りの依頼も無いので、お手製マスクを作りました。カラフルでお洒落なのが出来ましたよ。

新型コロナウイルスで、世界中が大変な事になっていますが、少しでも早く終息してほしいですね。
元の生活が戻るまで、みんな頑張りましょう。

谷 岳充（26期 昭和52年卒）

東原を卒業して40数年、半世紀が経とうとしています。中学3年の時に当時暮らしていた所から、現在住む練馬へ引っ越ししてやはり同じだけ時が過ぎて、人生の半分以上をこちらで暮らしているというのに、いまだに杉並の町が自分のホームタウンのような気がするのはなんでしょうか？

人間にも帰巣本能というものが有るとするなら、自然と足が向いてしまうのかもしれませんね！

東原中学での思い出というか、小学校（杉九）からのほとんどが東原へ上がったので、小学校の顔ぶれがほとんどでした。なので小・中学校での友だちとの思い出がごっちゃになっています。東原の前がまだ空き地で、そこで良く草野球をしていました。生徒の数もずっと多かったし、よく遊んでいた思い出があります。ただ中学に入ると部活が有ったり、勉強も難しくなって、今までみたいな付け焼刃が効かなくなり、遊ぶ時間も減ったような気がします。それでも今みたいなネットやテレビゲーム、ましてや携帯電話などない時代でしたから、いろいろ工夫して楽しんでいた気がします。

いじめや今なら体罰にされてしまうような先生からのお叱りも良い思い出になっています。

今でも年に一回程度、東原の同期会が有って、そこで会う友だちとはその当時の話で盛り上がり、当時の頃に直ぐ戻れます。

来年は皆還暦を迎える、このコロナが何とか終息してくれて、同期会が開催できたら良いなと思います。

児玉 裕（30期 昭和56年卒）

両親とも東京人だったので、田舎に帰省することがなかった。知らない街を旅してみたくて、どこか遠くに行きたい、とずっと思っていたのかもしれません。

高校2年のときに、初めて長い旅行に出かけた。国鉄を利用した、山陰と九州まとめて20日の旅行だった。部分的に一人旅も経験した。綿密な行程表を作成し、家に置いて行った。初めて乗った寝台特急、今は廃止された三江線の車窓、高千穂峡の美しさ、それらにいちいち感動した。それを機に、休みのたびに汽車旅を繰り返し、高校を卒業する頃にはほとんどの県に足を踏み入れていた。

大学生になり、運転免許をとり車も買ってもらった。列車の旅も良かったが車の方がはるかに自由が利いた。旅行も車に毛布を積んでゆき、行き当たりばったりの風来坊をするようになり、行程表を作成しなくなった。

観光地にはあまり行っていない。福島県から新潟県にかけての国道352号線は、地図には未舗装の悪路と書いてあった。行ってみると確かに悪路だったが、早朝の景色は辺り一面紅葉であったが、風情のある平家の落人伝説のある村を通っていた。そんなところばかり選んで行っていた。何の為に大学に行ったのか。おかげで運転は上手になったが。

結婚して、子どもに恵まれたおかげで、風来坊旅行は封印せざるを得なくなった。上の子は東原中学校にお世話になり、現在大学院に在籍している。そろそろ子育ても終わろうとしているとき、昔の旅心が眠りから目覚めてきた。

かなり久しぶりに車での一人旅をしてみた。昔のようにいつまでも運転を続けることはできなかったが、悪路の峠道に挑戦した。やはり運転は楽しかった。目覚めた旅心は再び眠ることはなく、今度はどこに行こうか、妻の顔色を窺いながら、虎視眈々と地図を眺めて思いを馳せている。

同期会の報告



東原中12期卒業生同期会を令和元年9月16日（敬老の日）荻窪「杉並会館マツヤサロン」にて開催しました。
当日は恩師の長内レ卫先生にご出席いただき、総勢73名が出席し大盛況でした。（山本賢二さんより）

校長・会長のあいさつ

東原中学校校長 小松 進一



昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにすべての宿泊行事や校外学習が中止になるなど、年度当初の予定を大幅に変更して教育活動を行いました。そのような中でも運動会と合唱祭を縮小実施し、子どもたちの成長を感じることができたことは、保護者の皆様をはじめ地域の皆様のご理解とご協力がなければ実現できませんでした。心から感謝申し上げます。令和3年度もコロナ禍の中での教育活動となりますが、『自由と責任』の校風を継承・発展させてまいりますので、引き続き、東原中学校同窓会の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

同窓会会長 大倉 光男（18期）



会長7年目になりました。微力ながら同窓会の発展に皆様とともに努めて参りました。今年こそは同窓会ホームページが情報の提供・交換の場になる様に充実させて行きたいと思っております。今後とも同窓会会員はじめ地域、関係者の皆様のご理解とご協力を頂き、母校の発展に尽力致したいと思っております。

第16回 賛助金納入同窓生・有志一同 99名他 377,280円				敬称略	現姓表示	令和2年3月31日現在
(1期・S27)	大根川総子	熊野 節子	篠田 圏恵	田中 正春	(2期・S28)	貝澤智津子
勝見 勝利	熊谷よし子	鈴木 恒幸	(3期・S29)	市川 温意	井上 毬子	佐々 宣
佐々木 潔	田村 春子	殿山 正子	長谷川末廣	伏見 泰子	増田れい子	横山 敏
(4期・S30)	小関 啓子	阪口 嘉子	西本 洋子	八代美保子	(5期・S31)	井上征一郎
金子十美代	桜井 伝蔵	富田 祐一	安成 和至	(6期・S32)	安野 豊	上野 徹
鈴木恵美子	諏訪喜代志	関沢 洋子	高田 弘子	高橋 陽子	千葉 陽子	豊田千代子
平山 正徑	眞下 進	山本 陽子	(7期・S33)	川名 海男	滝沢 清	中島 尚雄
横田 修	(8期・S34)	板橋 将隆	小川 靖子	黒須 敏雄	菅原都美枝	千田 典子
野間 節子	廣瀬 衛彦	丸山 勝子	和田紀久子	(9期・S35)	乾 寿子	田中 啓二
別府 良男	渡邊 薫	(10期・S36)	稻田 欣也	江川 隆子	沢田 郁子	田中 享子
(12期・S38)	一宮 義之	熊倉 洋美	下田 恵子	玉城 洋子	菱田 郁子	藤岡加代子
藤沢 隆雄	(13期・S39)	小宇田 緑	(14期・S40)	眞下 忠夫	(15期・S41)	岡田真理子
野呂瀬民知雄	船越 房江	(16期・S42)	佐藤 光央	竹本 栄子	菱山 康雄	藤島久見子
(17期・S43)	川口 裕章	桑名 信幸	(18期・S44)	伊藤 一文	勝見 清	斎藤 聰
(19期・S45)	桜山 広明	(20期・S46)	鎌田 純	守谷 英雄	(21期・S47)	本橋 邦子
(23期・S49)	田部 雅彦	田部 美樹	(24期・S50)	岩本 幸子	近藤 敬	
(26期・S52)	佐野 道洋	鈴木 英理	山口希代子	(28期・S54)	遠藤あゆみ	高橋 鍊介
福島 勉	(30期・S56)	長谷川 徹	(31期・S57)	高橋 京子	(32期・S58)	鈴木 礼子
(64期・H27)	儀 明佳	(24期・S50)	有志一同			

第17回 賛助金納入同窓生・有志一同 4名他 19,000円

(1期・S27) 船津 英夫 (4期・S30) 杉田 寛子 (6期・S32) 後藤 邦江
(34期・S60) 美作宗太郎

● 賛助金納入先

- ・ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュウ)支店 当座 0406561 東京都杉並区立東原中学校同窓会
- ・みずほ銀行 京橋支店 普通 2729854 杉並区立東原中学校同窓会
- ・西武信用金庫 阿佐ヶ谷支店 普通 1087407 東原中学校同窓会

なお、インターネットまたはATMからの送金の際には、下記の例のように振込人名の前に卒業期・卒業年をご記入ください。

例：昭和54年卒業、第28期の場合…28S54（平成の場合はSをHに）・お名前

令和2年度決算報告

令和3年度会計予算

令和2(2020)年度東原中学校同窓会決算報告			
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)		単位 円	
収入	支出	科目	金額
新入会員入会金(83名分)	41,500	会報印刷・発送費	0
賛助金	19,000	事務費	0
寄付金	0	会議費	0
決算利息	6		
小計	60,506	小計	0
前期繰越金	633,716	次期繰越金	694,222
合計	694,222	合計	694,222

上記のとおり報告します。
令和3年3月31日
会計 原田 直茂
上記の会計報告を監査した結果、適正であることを認めます。
監査 著名・捺印
駒井 智
大杉 香代

令和3(2021)年度東原中学校同窓会予算(案)			
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)		単位 円	
収入	支出	科目	金額
新入会員入会金	37,500	会報印刷・発送費	500,000
賛助金	300,000	事務費	30,000
小計	337,500	小計	530,000
前期繰越金	694,222	次期繰越金	501,722
合計	1,031,722	合計	1,031,722

概要
新入会員見込 75名
会報発行
カラー 6冊
白黒 2冊
2,500部

● 同窓会役員（令和3年度）

敬称：略

名誉会長：小松 進一（東原中学校校長）	
会長：大倉 光男（18期 昭和44年卒）	
副会長：石渡 智行（25期 昭和51年卒）	
書記：菱山 康雄（16期 昭和42年卒）	鈴木 英理（26期 昭和52年卒）
坂口 雅代（26期 昭和52年卒）	宮城島正行（26期 昭和52年卒）
会計：原田 直茂（18期 昭和44年卒）	
監査：大杉 香代（24期 昭和50年卒）	駒井 聰（25期 昭和51年卒）

● 同窓会学年幹事（令和3年度）

各期順不同 敬称略 現姓表記

(1期・S27)	中村 精良	五十嵐はるみ	(2期・S28)	加藤 昌俊	北澤専吉郎	(3期・S29)	小幡 実
小菅 和敏	鈴木 功一	(4期・S30)	内山 治俊	谷岡 勝年	小関 啓子	(5期・S31)	小笠原良行
輿水 直臣	桜井 伝蔵	渡辺 雄司	(6期・S32)	白浜 斎	諫訪喜代志	平山 正徑	眞下 進
山本 陽子	(7期・S33)	中村 功	船越 正義	山田 宗男	中村 鶴江	(8期・S34)	板橋 将隆
森 達郎	葭田 光三	堀江美喜子	布施 寿子	(9期・S35)	別府 良男	(10期・S36)	池田 秀彦
柏井 光一	久世 康英	猪俣 澄	(12期・S38)	菱田 郁子	(13期・S39)	小松 啓一	笹井 章男
高島 修	西川美知子	渡邊多嘉子	(14期・S40)	竹下 英明	眞下 忠夫	(15期・S41)	野呂瀬民知雄
秋山 裕子	船越 房江	(16期・S42)	佐藤 光央	高橋 邦年	菱山 康雄	(17期・S43)	大場佐江子
(18期・S44)	大倉 光男	(19期・S45)	塚越 洋子	松田 文子	(20期・S46)	幡鎌 俊行	守谷 英雄
(21期・S47)	池川 陽子	原田佐和子	(23期・S49)	篠 守彦	堤 健吾	大野 雅子	田部 美樹
(24期・S50)	松苗 宏則	藤原 幸子	(25期・S51)	石渡 智行	佐伯幸四郎	駒井 聰	福谷みどり
(26期・S52)	佐野 道洋	宮城島正行	坂口 雅代	鈴木 英里	(27期・S53)	石阪みどり	田中 深春
河西 良祐	(28期・S54)	上杉 茂夫	安達 知子	郡山 正子	中山 真理	福島 勉	(29期・S55)
村山 友佳	伊丹 由美	佐々木瑞江	篠 直余	染野 歌子	森崎 五美	(30期・S56)	児玉 裕
長谷川 徹	増田 剛	宮下 稔	伊藤 佳	(33期・S59)	輿水 忠之	佐藤 直秀	横田 政直
(49期・H12)	長島 淳一	野本 知章	佐藤栗里子	長谷川 智	丸山 和美	森 里美	(50期・H13)
外山 卓明	濱地 正志	斎藤 奈央	齊藤 葉月	杉山亞希乃	(51期・H14)	野林 正寛	福谷 洋介
山貝 和義	大場 悠子	林 ちひろ	平岡 千景	(52期・H15)	大塚 隆平	齊藤 美都	小林 健太
加藤 春日	平野 隆之	渡瀬恵理子	吉田 将	(53期・H16)	石原 康匡	松本 理紗	三浦 拓也
小林 愛美	藤田ちひろ	西池 公寛	(54期・H17)	本間 理	檀川 景子	春日 雄哉	廣瀬 友紀
堀池裕一郎	木村 花菜	(55期・H18)	鯉渕 敦博	柴田 さよ	多田 健人	生駒 早織	池川 広太
曾我 啓子	(56期・H19)	吉田 良之	眞中ひとみ	吉池 大樹	渡辺 樹里	辻本 翔太	大類 真喜
(57期・H20)	佐藤 売	木村 真子	榎本 康二	天野 聰子	阿部 圭介	山中佐和子	(58期・H21)
稻福 友佑	隅田 夏帆	大久保秀作	田畠 真実	高寺 泰陸	荒木 理沙	(59期・H22)	板倉 純
小林 瞳	玉置 有生	重國 聖羅	中澤 和俊	浅見 凜	(60期・H23)	榎本 健介	藤野 大海
古谷 瞳子	山口佑理香	菅原 拓海	帆苅 正宗	小池 芽衣	森近 玲偉	加賀谷洸太	平野 一樹
古賀 愛海	清水 勇気	(61期・H24)	中島 俊平	小澤 捷子	三井 来人	飯本日菜子	滝口 航
小松 由佳	(62期・H25)	工藤 源輝	新村 優花	元持 正博	石原 佳奈	(63期・H26)	駒崎 遼
服部 優斗	西川 亜衣	小関 乃依	(64期・H27)	福島 遼	板谷俊太郎	松本日菜子	古谷 理子
(65期・H28)	依田 政茂	成田 陽亮	海老 愛美	一柳 美結	(66期・H29)	小寺 悠太	鈴木 聖奈
篠崎 真	綿貫 来美	(67期・H31)	小宮山純平	八木 望	加納 祐輝	水澤 香織	(68期・R02)
浦本 琉司	清水那々実	村主 和也	逸見 貝華	(69期・R03)	君島 颮馬	釜口 桃佳	二宮 康祐
水野佐玖音	鈴木 郁己	矢萩 美生					

● 編集後記 ●

『北斗18号』をお読みいただきありがとうございます。新型コロナウィルス感染拡大の影響で私たちの生活が激変しました。昨年度は編集会議なども出来ず『北斗18号』の発行が1年遅れましたことをお詫びいたします。今号からカラーにし、読みやすいレイアウトを心がけ全面的にリニューアル致しました。19号も皆さまから近況など寄稿いただき、楽しい誌面を創りたく、どうぞよろしくお願ひいたします。

● 北斗18号 編集委員・名簿管理者

委員：大倉光男 原田直茂 大杉香代 石渡智行
駒井 聰
名簿管理者：大倉光男

杉並区立東原中学校同窓会会報

「北斗」18号 令和3年5月

東原中学校同窓会

杉並区下井草1-28-5 FAX. 03-3390-3588

編集責任者 大倉 光男

印刷：タイヨー美術印刷株 田中 和之 (38期)